

令和5年10月31日

太田市議会

議長 矢部 伸幸 様

太田クラブ代表 白石 さと子

会派行政視察報告書

- 1 期日 令和5年7月4日(火) から 7月6日(木)までの3日間
- 2 視察地 北海道室蘭市、北海道士別市、北海道旭川市
- 3 視察事項 (1)北海道室蘭市「室蘭市役所」
～地方再生コンパクトシティ関連事業について～
(2)北海道士別市「士別市役所」
～士別市コミュニティースクール事業について～
(3)北海道旭川市「ICT パーク(視察)」
～ICT パークについて～
- 4 参加者 8 名
白石さと子 町田正行 渡辺謙一郎 大川敬道
木村浩明 八長孝之 山水めぐみ
- 5 視察概要 別紙のとおり

地方再生コンパクトシティ関連事業について

(1) 北海道室蘭市 室蘭市役所 視察概要

【 室蘭市の概要 】

- ・面積 : 81.01 km²
- ・人口 : 77,472 人 (令和 5 年 3 月末)
- ・世帯数 : 43,803 世帯 (令和 5 年 3 月末)
- ・市制施行 : 大正 11 年(1922 年)8 月 1 日(人口:52,158 人 戸数:10,700 戸)
- ・一般会計予算 令和 4 年度 : 422 億 3,500 万円
令和 5 年度 : 461 億 9,600 万円
- ・議員定数 : 20 人
- ・政務活動費(議員一人当たりの月額) : 20,000 円

【 視察事項 】

室蘭市は平成 30 年 3 月に地方再生コンパクトシティのモデル都市に選出された。

◇取り組み

- ・ **立地適正化計画により、全市的に居住地のコンパクト化を推進**
・・・市街化区域 3,596ha のうち居住誘導区域は 1,126ha(約 3 割程度)に設定。
- ・ **公共施設の集約**・・・図書館と環境科学館を合築し、公共施設床面積の総量を抑制。また、市内のスポーツ施設を運動公園等に集約し、総量を抑制。
- ・ **エリア内の回遊性向上のための整備**・・・旧室蘭駅舎(道内最古の木造駅舎)と隣接する公園を一体的に整備。また、散策路として歩いてもらうためエリア 7 か所の案内板を整備。
- ・ **商店街の活性化**・・・まちづくりの「担い手」の発掘、遊休不動産活用、創業支援
- ・ **まちなかの空き店舗活用支援**・・・職員が自ら街歩きをして、見えそうな店舗をリストアップ。SNS などを通じて、活動を広報。
- ・ **まちなかのオープンスペースを活用した、にぎわいづくりの実証実験**・・・トークイベントで出されたアイデアをきっかけに、ポテンシャルの確認と市民活動のきっかけづくりを目的として場所と設備の提供と人つなぎをおこなう。企画から市民有志が主体となり 3 ヶ月間で 80 を超えるイベントを実施

【 所感 】

室蘭市の歴史・港・公共施設・公園・商店街等を“地区のポテンシャル”とし、これらを総動員することで相乗効果を創出し交流人口拡大・地域の稼ぐ力・賑わいの再生を目指している。合築した図書館の来館者数は 4 倍、スポーツ施設も移設したが利用者は増え、コンパクトシティというよりは、旧市街地の再活性化に成功しているように見えた。本市及び各地区の“ポテンシャル”は何かを再度考え、最大限引き出し地域の賑わいに繋げていきたい。

拠点間を結ぶ交通を維持するため、地元タクシー事業者と連携しデマンド交通の実証実験に取り組んでいるとのこと。また、駅前で待機中タクシーの側面に「子ども SOS タクシー」という文言が気になり話を聞いてみた

ころ、「走行中何か異変があったら声をかけ、場合によっては車内に避難してもらう」との回答だった。企業を含めた地域社会で子どもたちを守っているように感じた。



士別市コミュニティ・スクール事業について

(2) 北海道士別市 士別市役所 視察概要

【士別市の概要】

- ・面積：1,119.22 平方キロメートル(約 7 割が森林)
- ・人口：17,133 人(令和 5 年 3 月末)
- ・世帯数：8,960 世帯(令和 5 年 3 月末)
- ・市制施行：昭和 29 年(1954)
- ・一般会計予算 令和 4 年度：165 億 9711 万円
令和 5 年度：159 億 9689 万円
- ・議員定数：15 人
- ・政務活動費(議員一人当たりの月額)：なし

【 視察事項 】

令和 2 年 市内すべての市立学校がコミュニティ・スクールとなる

◇取り組み

・ 地域コーディネーターの配置

- …9 つすべての学校運営協議会に配置
- …地域住民(地域学校協働活動推進員)3 名と行政職員 4 名で構成
- …地域住民 3 名のうち 2 名は週 4 日、小学校と中学校に勤務
- …教職員と連携を密にするため、職員室に地域コーディネーターの座席がある
- …授業支援や地域へのサポート依頼など円滑なコーディネートを行う

・ 統括コーディネーターの配置

- …社会教育主事任用資格をもつ退職校長を登用
- …教育委員会に配置し、公民館や団体等との連携を推進
- …将来的な見通しを持ち、市全体で計画的に地域学校活動を実施

・ 地域学校協働活動普及資料の活用

- …教育委員会が作成し、市内学校や施設に配布
- …市内の文化スポーツ団体一覧「サークルメイト」
- …体験活動の指導が可能な施設や団体一覧「まなび☆ガイド」
- …職場見学等を受け入れてくれる事業所一覧「職場見学・職場体験受入企業一覧」

・ 学校運営協議会で話し合って実施した活動例

「合同街頭指導・見守り活動」…小学校の課題「あいさつ運動」と中学校の課題「自転車の乗り方」について解決策を考え計画。自治会に見守りを依頼。
⇒約 60 名の地域住民が朝の見守りに参加

【 所感 】

「地域で子どもを育てる」という時代があったが、今、子ども達や学校を取り巻く環境は大きく変わりつつあり、特に人と人との繋がりが減りつつある現代において、コミュニティ・スクールは非常に大切な取り組みであると感じた。

地域の中の各種団体や多くの方々が子ども達と関わることで他人事ではなく、自分事として一緒に子ども達を育てる。その子ども達が大人になったときに同じようにその時代の子ども達と関わることで、人や地域とのつながりが強くなり、住みやすい、子育てしやすい街づくりができると考えられる。しかし、課題として考えられる事として、地域では今、なり手不足という問題を日本全国で抱えている。どんなに良い施策であったもなり手が見つからなければ継続する事は困難であるとする。良い面だけではなく、課題も見据えながらコミュニティ・スクールの取り組みを今後も調査・研究していきたい。



ICT パークについて

(3) 北海道旭川市 ICT パーク 視察概要

【 旭川市の概要 】

- ・面積：747.66 平方キロメートル
- ・人口：322,187 人（令和 5 年 6 月 1 日現在）
- ・世帯数：177,726 世帯（令和 5 年 6 月 1 日現在）
- ・市制施行：大正 11 年 8 月 1 日
- ・一般会計予算 令和 4 年度：1,658 億 1,000 万円
令和 5 年度：1,692 億 7,000 万円
- ・議員定数：34 人
- ・政務活動費（議員一人当たりの月額）：80,000 円

【 視察事項 】

令和 3 年 2 月 7 日に旭川市 3 条通 8 丁目の神田館内に開設された施設

- ・目的：まちなかの賑わい、ICT に関心の高い人材の育成、IT 関連企業誘致や最先端技術の導入など
- ・管理・運営：一般社団法人大雪カムイミンタラ DMO

◇施設概要

- ・ 1F トレーニングジム
 - ・・・e スポーツのトレーニングを行うための施設。e スポーツを通じて、学校や世代、障害の枠を超えたコミュニケーションスペースとして利用可能。プログラミング教室や個人主催の小規模なイベント開催なども可能。
 - ・・・施設ポイント：高性能ゲーミング PC10 台/プロジェクター設備/飲食可能な休憩スペース併設
- ・ 1F e コミュニケーションスペース
 - ・・・e スポーツを通じたコミュニケーションの輪が広がる場として自由に使用できるスペース。
 - ・・・施設ポイント：フリーWi-Fi 完備/e スポーツを通じた交流促進以外の使用目的は不可

・ 1F スマートイノベーションラボ 北海道 旭川ルーム

・・・NTT 東日本が設置。高性能 GPU サーバの利用が可能で、AI や IoT 等の先端技術による地域産業の課題解決や社会実装を推進。先端技術の研修や、新たな企業の交流を推進し、ICT に関連する企業を幅広く誘致。NTT 東日本主催のプログラミング教室も定期的に開催し、ICT に強い人材育成の場としても活躍していく施設。

・・・施設ポイント : 高性能 GPU サーバへの接続が可能/企業交流が可能なスペース/コミュニケーションロボットをはじめとしたプログラミング教材

・ 3F コクゲキ ...市民に親しまれていた映画館が「コクゲキ」へ。約 180 名収容可能で e スポーツのできる環境を整備。音響・照明設備も備えているため、e スポーツ以外の多種多様なイベント対応可。

・・・施設ポイント : 大型 LED ビジョン(約 5m×3m)/高性能ゲーミング PC10 台/ 音響・照明設備/リアルタイム配信が可能な映像設備

【 所感 】

旭川市は高校に e スポーツ部がありトレーニングジム利用者も 1 日 7~8 人と普及の高さを感じた。

施設を視察させていただき、e スポーツはボーダレスなコミュニケーションであり、e スポーツに特化した施設は今後需要があるのではないかと思う反面、常に最新を求められ、機材費などランニングコストがかかり、現状、運営費は市の負担金でまかなわれているとのこと。この部分をいかにクリアにしてくのが継続的な運営のポイントになるのではないか。また、「コクゲキ」で開催されるゲームイベントは使用許可がでない等クリアしなければならない点も多いが、本市アリーナでも大規模な e スポーツイベントなどが開催できないか研究していきたい。

